資料２

令和８年度第１回
三郷市在宅医療・介護連携推進協議会

急変時の対応

具体策の検討

１．急変時の連携体制が十分であるか
　　・アンケート集計結果

~~２．訪問・通所・短期入所を組み合わせて在宅療養を継続できる仕組みが構築されているか~~

令和７年度第２回協議会にて部会で検討する
議題としたため協議会では検討しない

今後の取組について②

在宅医療・介護に関わる専門職へ「急変時の対応」に関するアンケート調査・分析を行う

「急変時の対応」に関するアンケート調査結果について

1 調査対象	市内で在宅医療、介護に携わるかたで、急変時の対応を行うかた
2 回答期間	令和７年１２月５日～令和８年１月１３日
3 目的	在宅療養者の急変時の取組について各医療機関・介護関係機関の状況や課題を把握し、今後の取組に資するため
4 配布数	２８４団体（医療機関、居宅、施設等）
5 回収数	１８５件（FAX９２件、電子システム９３件） うち有効回答１５６件

ご意見いただきたいこと

アンケート結果（抜粋）

結果		対応（案）
【2-1】急変時に対応するマニュアルの有無（p.2)	緊急時のマニュアルがない人が半数以上	緊急時の対応マニュアルが必要ではないか （方法） ①市全体で統一ルールをつくる ②マニュアルがない事業所は法人内や類似事業所等から情報収集する
【2-3】マニュアルが「ない」理由(p.2)	必要性を感じていない、作成時間がない人が多数	
後述の回答	緊急時の対応がわからない、不安を感じている人がいる	
【3-1】急変時の対応について、事前に本人や家族に相談・確認ができているか(p.3)	本人の急変時の意思確認ができていない人が半数以上	急変時のことを考えると、確認しておく必要があるのではないか （方法） 人生ノート、ACPの普及啓発

アンケート結果（抜粋）

	結果	対応（案）
【3-3-3】急変時の対応の具体的な困りごと、その他記述(p.4)	・家族との関わりに困っている人が多数 ・病院や救急隊はケアマネジャーやサービス事業所などの関係者に付き添ってもらいたいが、ケアマネジャーや事業所はそれが負担になっている	（令和７第３回協議会の検討結果と同様） ・関係者は、家族の連絡先の把握、更新を行う ・義務ではないがケアマネジャーや事業所にはできる限り協力をいただきたい、また病院や救急隊にはその点ご留意いただきたい
【4-1】救急搬送時、救急隊に伝えるべき情報は把握しているか(p.5)	急変時に救急隊に伝えるべき内容を把握できていない人がいる	急変時に救急隊に伝えるべき内容は在宅の専門職は把握しておくべきではないか （方法） 救急キットの内容の把握及び更新に努めることを周知

アンケート結果（抜粋）

結果		対応（案）
【4-2】急変時の対応について多職種と連携がとれているか(p.5)	他職種の連携がとれていない、と思う人もいる（関係性、理解不足など）	研修部会での検討継続
【5-1】ACPを知っているか(p.7)	在宅の専門職でACPを知らない人がいる	研修部会での検討継続
【5-5】人生の最終段階（終末期医療）について本人や家族と話しているか(p.9)	人生最後の話をしていない人が半数以上	研修部会、広報啓発部会での検討継続